



令和3年度

1月号

清瀬市立清瀬第七小学校

(毎月19日は食育の日)

あけましておめでとうございます

楽しい冬休みを過ごせましたか?いよいよ学年最後の学期が始まりました。寒い冬を元気に過ごすためにきちんと手を洗う、食事をしっかり食べる、疲れをためないことなど、感染予防に努めましょう。

給食においてもより一層、衛生面に注意を払い、安全でおいしい給食を提供できるように取り組んでいきます。本年もよろしくお願いたします。

「鏡もち」と「鏡開き」

「鏡開き」とは、お正月にお供えていた「鏡もち」を下げ、それをいただく行事です。1月11日に行われるところが多いですが、地域によっては、ちがう日に行われています。

「鏡もち」を木づちなどで細かくして「しるこ」や「ぜんざい」、「お雑煮」などにして、いただきます。



お供えた「鏡もち」をいただくことで、「1年間、病気をしないで元気に過ごせますように」との願いが、こめられています。

出典：食育フォーラム

※給食では1月12日に「おしるこ」がでます。お楽しみに。

清瀬産の野菜をいただきます。



1月24日～30日「全国学校給食週間」 日本の学校給食の歴史を知ろう!

全国学校給食週間は昭和25年度から始まった取り組みで、毎年学校給食への理解や関心を深めることを目的に実施されます。学校給食は、貧しい子供たちを飢えからすく、栄養状態を改善するものでした。現在では役割が変わり、子供たちが望ましい食習慣や食の正しい知識、実践する力を身につけるための重要な役割を担っています。

給食では24日(月)現代和食から始まり、28日(金)明治22年、給食の始まりまでさかのぼります。お楽しみに。

明治22年



山形県鶴岡町の小学校で、まず貧しく弁当が持たない子のために提供された「完全給食」が給食の始まりとされています。

昭和25年頃



アメリカから寄贈された小麦粉を使い、パン・ミルク・おかずの「完全給食」が開始。当時はクジラ肉がよく使われました。

昭和38年頃



ソフト麺(ソフトスパゲッティ式麺)が開発されました。翌年にはミルクが牛乳に変わっていきました。

昭和51年頃



ご飯給食が正式に始まり、カレーライスや炊き込みご飯やピラフなどが登場。献立の幅が広がりました。

そして今は・・・

ご飯を中心とした和食の献立を基本に、郷土料理や行事食を提供しています。様々な地域の料理や食文化、食べ物への感謝の気持ちなどを学ぶ役割も担っています。

出典：『年代別モデル献立資料』

日本スポーツ振興センター 学校安全web